



同大会での2人

3月に千葉県で開催された、第18回全国小学生ソフトテニス大会のダブルス男子4年生以下の部で、増田汰一選手と大前幸輝選手（共に高城小5年・スターキッズ所属）のペアが、175組の頂点に立ちました。

増田選手と大前選手は試合を振り返って「初めは緊張したが、家族や友達の応援で安心できた。優勝できてうれしい」と声をそろえます。2人は、0歳から一緒に過ごしてきた幼なじみ。増田選手は姉の影響で小学1年生から、大前選手は2年生の時に増田選手から誘われ、小学生ソフトテニスクラブ「スターキッズ」でソフトテニ

# Smiling faces of miyakonojo 人の風景

スを始めました。

3年生からペアを組み、一緒に練習を重ね、技術を磨いてきた2人は「コンビネーションでプレーすることが、ダブルスの楽しみ。互いを思う気持ちと、意思の疎通が大切で、今では、互いの動きが読める」と顔をほころばせます。

子どもたち一人一人の輝きを大切にしたいという思いを込めて「スターキッズ」と名付けられた同クラブ

は、現在、市内外の小学生16人が所属し、高崎町を拠点に活動しています。鮫島福弘監督は「一生懸命ではなく、一笑懸命がチームの合言葉。技術の向上だけでなく、子どもたちが、厳しい練習や試合でも、笑顔忘れず、元気に楽しく取り組むことを大切にして、い」と力を込めます。そして、今回の優勝について「練習を通じて、スポーツの楽しさを学び、仲間を思いやり、一笑懸命に努力する大切さを指導してきた。その指導に、選手たちが応えてくれた」と振り返ります。



スターキッズのメンバー

5年生に進級した2人は、4月に宮崎市で開催された全日本小学生ソフトテニス選手権県予選会でも庄巻の優勝を果たし、7月に栃木県で開催される全国大会出場の切符を手に入れています。全国大会への意気込みを尋ねると、きりつと表情を変えた増田選手は「追われる立場になるが、リラクセスして大会に挑みたい」と語り、大前選手は「プレッシャーに負けないよう優勝目指してがんばりたい」と士気を高めると、急いでコートに戻り、息を合わせて練習に励んでいました。

# 見事なコンビネーションで 勝ち取った全国大会優勝!!



優勝第十四回 全国小学生ソフトテニス大会  
愛知東浦森と川 STC 遠藤功一 三月三十一日  
外山陽翔 平成二十七年  
原 耕生 平成二十七年  
今田 瑞基 三月三十一日

**賞状**

優勝 男子4年生以下ダブルス  
宮崎 増田 汰一  
大前 幸輝

全国小学生ソフトテニス大会において  
全国の代表選手と友情と友好の輪をひろげ  
かつファインプレーで優秀な成績をおさめた  
ここにその栄誉をたたえます

平成31年3月31日

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟  
会長 安道 光二

第18回全国小学生ソフトテニス大会  
ダブルス男子4年生以下の部  
優勝(右から)

増田 汰一 さん  
おまえ こうき  
大前 幸輝 さん  
(高城小5年・スターキッズ所属)